

# ～教員おすすりめ本～

No. 15

総合社会学部 環境・まちづくり系専攻  
藤田 香



## 『ハチドリのはとしずく： いま、私にできること』

辻信一 監修

### 【先生からのコメント】

この物語は、南アメリカの先住民に伝わるお話です。

「森が燃えていました」

物語はこうして始まります。物語の主人公、ハチドリのカリキンディは住んでいる森が燃えているとき、どうするのでしょうか？

私たちひとりひとりがカリキンディ。みなさんがさまざまな問題に向き合うとき、無力だと感じることもあるかもしれません。そのようなときに手に取っていただきたい一冊です。

「きみがハチドリのカリキンディ、はとしずくをありがとう！」

これは出版当時、保育園児だったこどもが辻さんからいただいたことばです。

みなさんのはとしずくを考えてみませんか？



## 『ガリレイの生涯』

ベルトルト・ブレヒト 作  
岩淵達治 訳

### 【先生からのコメント】

ガリレオ・ガリレイは16～17世紀の科学者ですが、みなさんのなかには東野圭吾氏の『探偵ガリレオ』シリーズの主人公・天才物理学者・湯川学をイメージする人がいるかもしれません。

「それでも地球は動く」

あまりにも有名なことばですが、この作品はブレヒトが、コペルニクスにより説かれた地動説を望遠鏡による観察で確信したガリレイの人物とその時代を戯曲化したものです。

「君たちは何のために研究するんだ？」

ガリレイの時代、ブレヒトの時代、そして今を生きるみなさんはこの作品のなかの何をみつめるのでしょうか？

おすすりめの一冊です。

2017年9月15日  
近畿大学中央図書館